

事務事業評価シート

(平成 23 年度実施事業)

事務事業名	町名由来に関する事業			事業コード	2834
所属コード	051000	課等名	環境企画課	係名	環境保全係
課長名	櫻 正伸	担当者名	鈴木 秀一	内線番号	8418
評価分類	<input checked="" type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 公の施設 <input type="checkbox"/> 大規模公共事業 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理				

1 事務事業の基本情報

(1) 概要

総合計画 体系	施策の柱	共に生き未来を創る教育・文化	コード	4
	施策	歴史を受け継ぐ文化遺産の保護・活用	コード	5
	基本事業	歴史的文化遺産の保護と活用	コード	1
予算費目名	一般会計 4 款 1 項 4 目 保存建造物等管理整備事業 (002-03)			
特記事項				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	開始年度	昭和 51 年度	
根拠法令等	「盛岡市環境基本条例」「盛岡市自然環境及び歴史的環境保全条例」			

(2) 事務事業の概要

旧町名由来板の維持管理。

(3) この事務事業を開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか)

昭和 37 年に「住居表示に関する法律」が施行され、盛岡市においても旧市街地の古い町名の多くが、新しい町名に変わったことから、市民や市議会の要望もあり昭和 52、53 年度の 2 ヶ年にわたり旧町名の保存を目的に「城下盛岡町割保存事業」を実施。専門家へ委託して調査した結果を基に、昭和 53 年度に市内 27 箇所、50 町名分の由来等を記した説明文を「旧町名由来板」として設置したことが当事業のきっかけとなっている。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

町名由来板設置後 30 年近くが経過し、市民から説明文の誤りも指摘されていることから、平成 20 年度に専門家へ依頼して見直しを行い、平成 21 年度に、この監修作業を行い、「城下盛岡町名由来記」の改訂版(冊子)を作成した。今後は年次計画で町名由来板 27 基の更新を図ることとしている。

また、旧町名の由来は、地域の歴史を理解する上で重要な要素となっており、また今後のまちづくりの視点から、市民及び議会などにおいて注目されている。

2 事務事業の実施状況 (Do)

(1) 対象 (誰が, 何が対象か)

市域の歴史的環境

(2) 対象指標 (対象の大きさを示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 見込み
A 町名由来板の管理数	基	27	27	27	27	27
B						
C						

(3) 23年度に実施した主な活動・手順

城下盛岡町名由来板の維持管理

(4) 活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)

指標項目	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 補修・更新した町名由来板の数	基	3	3	3	3	3
B						
C						

(5) 意図 (対象をどのように変えるのか)

旧町名の由来は, 地域の歴史を理解する上で重要であり, 後世に引き継ぐべきものであることから, それを市民に周知を図る。

(6) 成果指標 (意図の達成度を示す指標)

指標項目	性格	単位	21年度 実績	22年度 実績	23年度 計画	23年度 実績	26年度 目標値
A 町名由来板更新率	<input checked="" type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持	%	11	22	33	33	67
B	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						
C	<input type="checkbox"/> 上げる <input type="checkbox"/> 下げる <input type="checkbox"/> 維持						

(7) 事業費

項目	財源内訳	単位	21年度実績	22年度実績	23年度計画	23年度実績
事業費	①国	千円	0	0	0	0
	②県	千円	0	0	0	0
	③地方債	千円	0	0	0	0
	④一般財源	千円	227	202	215	202
	⑤その他()	千円	0	0	0	0
	A 小計 ①～⑤	千円	227	202	215	202
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	280	180	180	180
	B 職員人件費 ⑥×4,000円	千円	1,120	720	720	720
計	トータルコスト A+B	千円	1,347	922	935	922
備考						

3 事務事業の評価 (See)

(1) 必要性評価 (評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要)

① 施策体系との整合性

結びついている。

理由：旧町名由来板の整備・設置は市民に広く城下町盛岡を周知する方法として有効であり、地域の貴重な歴史を後世に伝えることにつながるものである。

② 市の関与の妥当性

盛岡市の歴史的環境は盛岡特有の財産であり、これを守り後世に伝えることは市の役割であるため、妥当である。

③ 対象の妥当性

城下町盛岡の由来を周知するため由来板を設置するものなので、現状で妥当である。

④ 廃止・休止の影響

旧町名の由来は、地域の歴史を理解する上で重要な要素となっており、また今後のまちづくりの視点から、市民及び議会などにおいて注目されており、市の果たす役割は大きいため、休廃止の影響がある。

(2) 有効性評価（成果の向上余地）

町名由来板設置後 30 年近くが経過し、市民から説明文の誤りも指摘されたため、平成 21 年度に説明文の改訂を行なったところであるが、財政上、年間 3 基の更新予定となっており、できるだけ短時間で更新を完了することが課題となっている。

(3) 公平性評価（評価区分が「内部管理」の事務事業は記入不要）

特定の受益者はいない。

(4) 効率性評価

事業費については、年次計画で町名由来板 27 基を更新する予定であるが、財政上、年度毎に 3 基更新するのが限界であり、これ以上の事業費の削減はできない。

また、人件費についても務時間数は最小限にとどめているため、これ以上の削減はできない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 改革改善の方向性

旧町名を効果的に周知する方法を検討する。

(2) 改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

由来板の更新計画は、財政上、年度毎に 3 基更新するのが限界であることから、補助事業等の活用により、できるだけ短時間で更新を完了する必要がある。

5 課長意見・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 今後の方向性

- 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

旧町名を語れる市民はだいぶ少なくなっているのではないのでしょうか。由来版の材質を研究し、耐久力と見た目のクオリティを両立するようにできないのでしょうか。